

オンライン定期試験ファイナルガイド

2020年度 S/S2

複雑なオンライン試験のために『クイックガイド』をすでに出していますが、試験の際にそれを見ながらやっているのでは間に合わないような事前準備について、最も重要なものをまとめましたので、必ず以下のすべての項目を確認し、事前に準備・練習をしたうえで試験に臨むようにしてください。試験の時は、パソコンの故障やネットの不通、家族による邪魔など、本人の責任に帰することができない遅延については事後的に救済されますが、以下のことについて準備を怠った場合は、救済が難しい場合もあります。本ガイドについては、試験の際にはもはや手元に置く必要がないようにしてください。

アカウントと URL・PDF（ある場合）の準備


定期試験の Google フォームは ECCS クラウドメール (@g.ecc.u-tokyo...) のアカウントでなければ解答できない。アドレス/パスワード忘れによる遅延は遅刻扱いとなる。14 日経つと強制ログアウトするので試験当日に再ログイン必須。試験室・報告用フォーム URL や試験問題 PDF の入手も、直前では LMS 等が混雑し、遅刻しかねない。
※PDF のパスワードは通常出席登録送信後の画面で表示される。それをコピー&ペーストすること（直接打ち込まない）。LMS からダウンロードする際はパスワードを聞かれるが、その時点でダウンロードは完了している。

Google フォームに慣れておく

以下のオンライン試験相談会の録画掲載ページにある練習用フォームを使って、事前に出席登録を選択して送信する操作や新しいタブで問題用フォームを開く操作、カメラで撮った複数の写真を5分以内にフォームの該当箇所にアップロードする練習（手書き答案を使う試験がある場合）を必ずしておくこと。本番では問題/アップロード用フォームの「送信」は1回に制限され、「回答を受付ました」というメッセージが出れば無事に送信されたことを意味する（報告用フォームは、送信時間は記録されるが何度でも送信可能。「出席登録」は複数回送信しない）。フォームは本番では数分の遅延（渋滞）がありうる。学部の想定以上の遅延があった場合は延長ないし救済される。

○試験相談会の録画掲載ページ：<http://www.c.u-tokyo.ac.jp/zenki/news/kyoumu/all/2020/0706191000.html>

<スマホ/タブレットから Google フォームに画像アップロードする最も効率的な方法>

【スマホ/タブレット】Google Drive アプリをインストール→Google Drive アプリを開き、ECCS クラウドメールでサインイン→右下にある+マークをタップ→「カメラを使用」→写真を撮る→「写真を使用」（「マイドライブ」に自動保存される；必要回数これを繰り返す）→【ここからパソコン】Google フォームの「ファイルを追加」（練習用問題では3の問題）→「マイドライブ」を選択→該当する写真を選択（複数の場合は Ctrl/Command キーを押しながらクリック）→アップロード

※よくわからなくなったら、「パソコンですぐに見られるメールアドレスにメールで送る」という方法も。

※デジカメやスキャナについては説明書参照。前者はSDカードでやり取りするのが手軽なことが多い。

※ウェブカメラでも写真は撮れるが、標準的なものは画質が悪く（左右反転する場合も）、後程コンビニ等のスキャナで再送信が必要になる可能性が高い。試験時は「後できれいな答案と見比べれば同じ答案であることがわかる」程度には写して送る。

ウェブカメラ/スマホカメラでの接写でピンボケを避ける

A/B方式では学生証を、A/C方式の手書き答案利用の際は解答終了後に写真に撮って送る前に解答用紙を、カメラに近づけて試験監督が記録する作業がある。学生証の場合は基本的に10cm（ウェブカメラの場合は15cm）の距離にすれば多少ピンボケしても学籍番号は読み取れるが、答案の場合は近づけすぎてピンボケして見にくくなることもある。自分が使うカメラで、自分が使う解答用紙と自分の文字の大きさである程度ピントが合って見やすくなる距離がどのぐらいかを把握しておく。また明るさを調整して答案を読みやすく撮る練習もしておくこと。

※『クイックガイド』で注意書きしたように、スマホをウェブカメラにするアプリのフリーズ問題に注意。

モニタリング用カメラのセッティング

上記相談会動画を見て確認しておく。A方式では、パソコン画面を監督者が確認できるかが最大のポイント。監督者が見る映像は画質が落ちる場合があるため、設定の画面ではよく見えている必要がある。逆光を避け、カメラを後方に置くと見えやすくなる（遠いほうの手が体に隠れない限りは、かなり後方からのアングルでよい）。

パソコンやスマホがフリーズ、ネット接続切れしにくくなるようにしておく

各端末は電源に必ずつなぎ（マウス等の電池切れも注意）、試験前に再起動して不要アプリは立ち上げず軽くしておく。OSのセキュリティ機能は維持/復活しつつ市販のセキュリティソフトの設定を見直す手もある。